

変化するイノベーションの性質

- オープン
- 協業的
- 分野横断的
- 世界規模

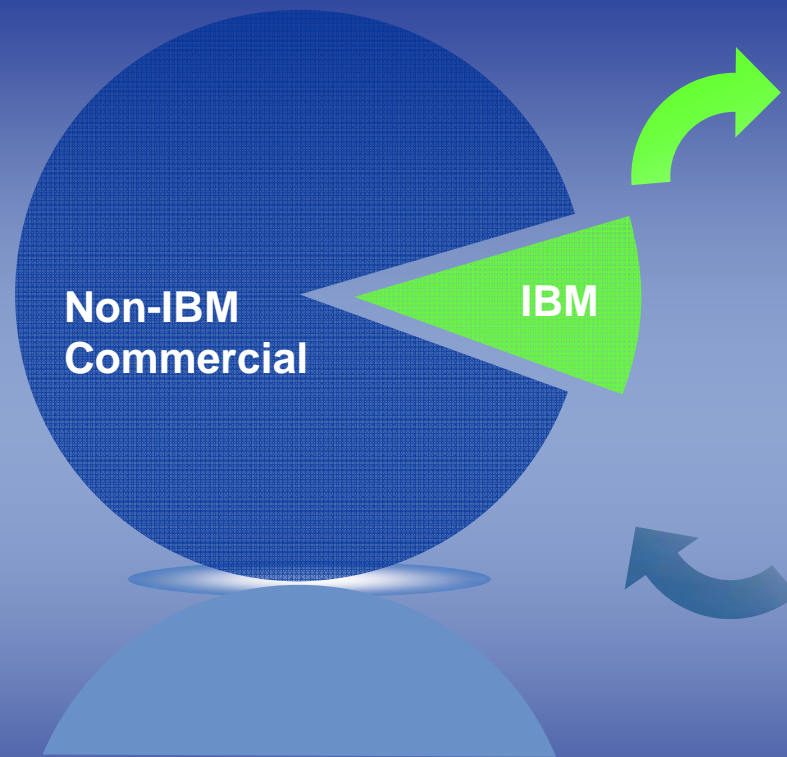


21世紀のイノベーション: アイディアこそが製品である

- 最高経営責任者の最大の関心事はイノベーションによる成長である
- 知識経済においてはアイディアこそが製品であるつまり:
 - ▶ 益々激化するアイデアをめぐる競争
 - ▶ アイディアを開発する新たな方法
 - ▶ アイディアを保護することがより重要に
- オープンで協業的なビジネスモデルの台頭
- イノベーションを保護し促進するためには、強固でグローバルな知的財産システムが必要である



IBMにおけるLinuxの例: レバレッジを利用した開発費用



IBM Linux テクノロジーセンター

\$50M/yr	IBM 製品
\$50M/yr	Linux 共通

\$100M/yr 計

オペレーティング環境をIBMが
独自に開発する場合の約5分
の1の費用で開発

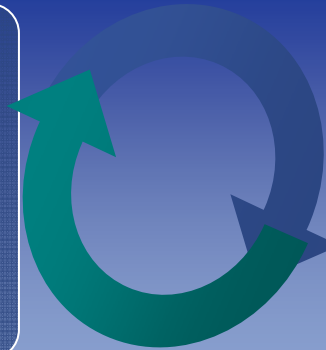
IBM以外の商用Linux開発費用 (e.g. インテル, ノキア, 日立, etc.)

\$450M – 700M	各企業の製品向け
\$450M – 700M	Linux 共通

\$900M – 1,400M 計

21世紀のイノベーションモデル

プロプライエタリ・イノベーション
所有者に収入と利益をもたらすように囲い込まれた事業モデル



オープンで協業的なイノベーション
創作し、保守し、機能向上を図ることができる、無償で共用の能力

差別化

標準化

Leadership

イノベーションを促進し、お客様の問題を解決し、成長を加速するためには、今日、何処に位置する必要があるのか？

知的財産と協業の交錯点

特許政策

- Marketplace Wiki
- IBM 特許指針
- Inventors Forum

特許の質

- コミュニティ・パテント・レビュー
- 先行技術としてのOSS
- 特許品質指標(PQI)

標準

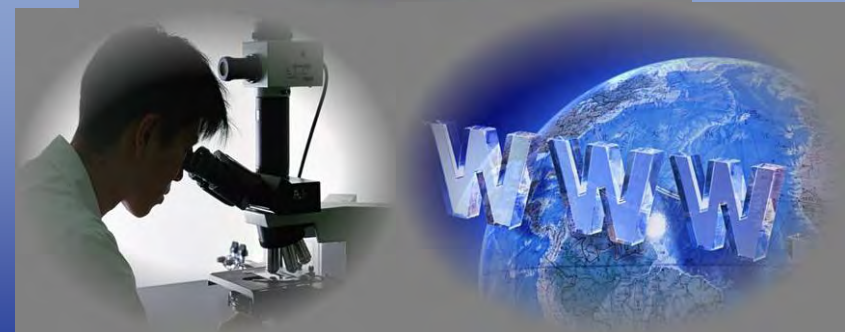
- オープンな標準
- Standards for Standards (S4S)
- オープン・ドキュメント・フォーマット

協業

- Open Invention Network (OIN)
- 特許の開放
- University collaboration principles

特許の開放: 標準とオープンソースでイノベーションを加速

- Linuxカーネルへの特許開放
- 500件のソフトウェア特許をオープンソースへ開放
- OASIS ウェブサービスへの特許開放
- ヘルスケアと教育のソフトウェア標準への特許開放
- OAGIS 標準への特許開放
- ソフトウェアの相互運用可能性標準への特許開放
- エコ・パテントコモンズ



Leveraging intellectual property

